

イー・ウーマン調査

働く女性と英語の関係

株式会社 イー・ウーマン
http://www.ewoman.co.jp/

2006年5月より、TOEICは新方式となり、またTOEFLでは(CBT)から(iBT)へスピーキングセクションが導入される。最近ではPodcastを活用した新しい学習方法が登場するなど、私たちの取り巻く英語環境が変わっている。普段、働く女性は英語とどのように接しているのだろうか。イー・ウーマンリーダーズを対象に2006年4月6日(木)から4月11日(火)まで調査を行い、1,091名より回答を得た。

■ テレビ・ラジオ講座、専門学校・英会話学校で勉強…… グラフ1

英語についてどのような学習をしたことがあるかを複数回答で聞いた。「テレビ・ラジオ講座(75.8%)」、「専門学校・英会話学校(54.7%)」がそれぞれ1位、2位。費用として安価なラジオ講座と、比較的高額な英会話学校という対比した結果となった。また、「プライベートレッスン」は21.7%を占め、「単発の講座セミナー」の17.6%を上回った。

■ 3カ月以上の留学経験あり21.0%…… グラフ2

3カ月以上の留学経験があるのは全体の21.0%、229人であった。3カ月以上の留学経験があるリーダーズ229人のうち、3カ月以上～1年未満の留学経験者は35.0%であった。1年以上の留学経験者は半数以上の64.2%であり、現在働く女性の多くは、単なる短期の語学の勉強というより、研究を長期にわたり深めてきたようだ。

■ 海外で働いてみたい!…… 表1

海外で働いてみたいと思っているのは、全体の約半数、49.6%であった。20代の海外で働いてみたい志向は各年代より高く66.4%であった。さらに20代のリーダーズ10人に1人が、すでに海外で働いているとの回答であった。年齢が上がるとともに、「働いてみたいと思う」割合が減少している。理由として、結婚や家族のために日本を離れられないとのコメントが多く寄せられた。

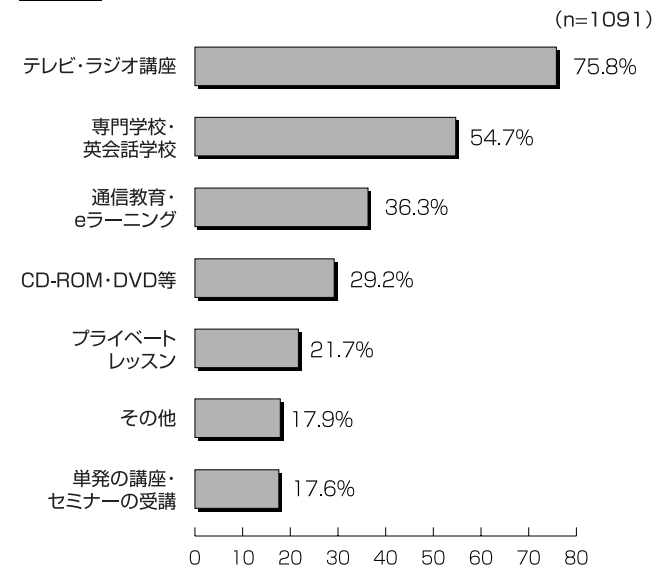
■ 年収との関係…… 表2

年収と英語力の関係はどうだろうか。MBA留学などにつながるTOEFL(CBT)について見てみる。TOEFL(CBT)スコアがいいことは、必ずしも高年収にはつながっていない。しかし、年収が高い人は、高スコアを保持している。今回の調査結果では、年収1,001万円以上の全員がスコア250以上をマークしていた。現在、年収が300万円以下であっても、スコア250以上をマークした層は、留学などで身につけた経験・知識を基に、収入アップの可能性はある層ではないだろうか。

■ 英語を学ぶことによって得られる情報の質と量

本調査の参加者からは、「自学自習はだらけてしまうことができるので、モチベーションを維持する仕組みがあるといい」といったコメントや、「個人の努力が必要であることは承知であるが、モチベーションを保つ刺激を提供してくれるとありがたい」というコメントが寄せられた。さらに、自分の英語学習体験を基にした、モチベーション維持のアドバイスも寄せられた。「高い月謝を払って英会話学校に通い、会社の支援制度を利用して通信教育も経験したことがある。でも、一番効果的だと感じたのはラジオ英会話である。また最近ではCS放送でBBCやCNNを毎日見る習慣にしている。英語はなおさらのこと、世界での注目ニュースがわかる。また世界における日本の位置づけも客観的に知ることができる。英語と共にマスコミのあり方まで学ぶことができている。英語を知ることによって得られる情報の質と量に着目する。それが英語学習のモチベーションを維持し続けるコツだと感じている。」

グラフ1 どのような勉強をしたことがある? (MA) (n=1091)



グラフ2 3カ月以上の留学経験者の留学期間 (n=229)

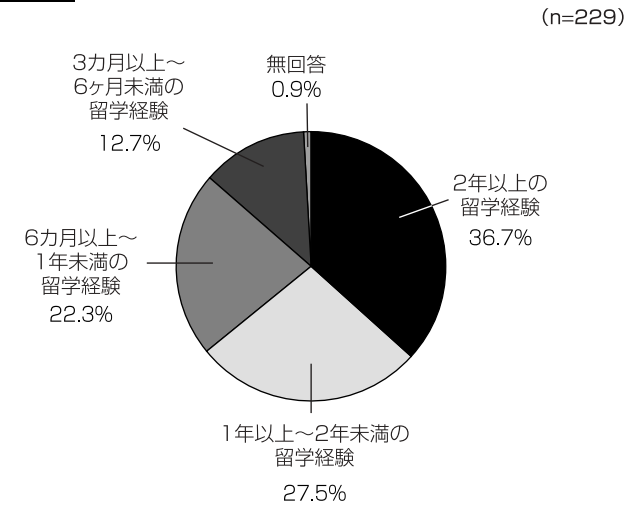


表1 海外で英語を活用して仕事をする機会があったら、働いてみたいと思いますか? (SA)

年齢	データ総数	働いてみたいと思う	働いてみたいとは思わない	すでに働いている	わからない
総計	1,091	49.6%	25.5%	6.6%	18.3%
～29歳	131	66.4%	13.0%	10.7%	9.9%
30～39歳	556	50.4%	26.1%	7.2%	16.4%
40～49歳	345	45.2%	27.0%	4.3%	23.5%
50歳～	59	30.5%	39.0%	5.1%	25.4%

表2 TOEFL(CBT)スコア (SA)

年収(万円)	データ総数	250以上	220～249	180～199	180点未満
総計	52	48.1%	34.6%	11.5%	5.8%
～300万円	18	50.0%	33.3%	5.6%	11.1%
301～500万円	15	26.7%	46.7%	26.7%	0.0%
501～700万円	9	33.3%	55.6%	0.0%	11.1%
701～1000万円	6	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%
1001万円～	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<調査概要>
調査実施:2006年4月6日(木)～4月11日(火)
調査方法:インターネットによる自記入式アンケート
対象:イー・ウーマンリーダーズ
有効回答数:1,091名

LEADERS DATA

